

第 25 期第 1 回

東日本大震災に係る食料問題分科会・分科会議事録

1. 日 時 令和 3 年 1 月 2 5 日（月） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

2. 会議形式 ビデオ会議（Zoom）

3. 出 席 眞鍋昇、中嶋康博、小山良太、澁澤栄、清水誠、本間香貴、那須民江、
本間香貴、萩原篤志、山下俊一、渡部終五

陪 席 原澤千春 参事官（審議第一担当）付第 2 部担当

4. 議 事

（１）定足数の確認： 1 1 名が出席し、分科会は成立した。

（２）前回議事録の確認：承認された。

分科会の委員長の選任：中嶋会員（東京大学）が委員長に選出された。

（３）分科会の副委員長（１名）・幹事（３名）の選任

副委員長は眞鍋会員（大阪国際大学）にお願いする。

幹事 3 名は、小山連携会員（福島大学）、関谷連携会員（東京大学）、本間連携会員（東北大学）にお願いする。

（４）特任連携会員の選任

今回は決めず、今後必要に応じて検討する。

（５）第 2 5 期の活動報告について

第 2 5 期幹事会「第 25 期の分野別委員会、分科会等の活動について」と「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」を基に議論した。今期の分野別委員会、分科会等の活動をより社会の負託に応えたものとするために、これまでの活動を振り返り、現状と今後の活動の在り方について見直しの作業を行った。

（６）分科会の第 2 5 期の活動について

①東日本大震災に係る食料問題分科会の活動、震災 1 0 年を総括に関する発信、②海外への発信の必要性（国内のエビデンスを世間一般、メディアに対して、科学者としてどう発信していくか）、③放射能の問題から一般的な食のリスクの問題について知見を基に、他の災害時の食の問題について敷衍できないか、④リスクを減らすことはできるがリスクをゼロにすることはできない。対話にとどまらないアクションプログラムづくりの必要性、について検討した。

オンライン開催も含め、今年度中のシンポジウムを開催し、広く世間に発信することを検討することとした。

(7) その他

- ・ 次回の分科会の開催について

2021 年度 4 月以降にシンポジウムの中身を検討する。